

たまりば

2010年秋号
Communication
通信 

◆ 発行日 2010年10月 ◆ 発行 特定非営利活動法人フリースペースたまりば
〒213-0022 川崎市高津区千年435-10
TEL 044-833-7562
FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

あつい！ 楽しい！ 八丈島！！

～降っても晴れてもキャンプは最高！～

今年も、7月26日(月)～31日(土)に恒例の八丈島合宿に行ってきました。

最初の難関は、大量の共同装備の積み込みです。体力のある人は3升炊き大釜や大型テントなどを、ちびっこたちは銀マットなどを持てるだけ抱え、総勢45人の大移動です。今年は初めて参加する人や小学生が多めとあって、第2の関門は、炎天下でのテント張り。ベテランのお兄さんお姉さんのふんばりどころ。新しく皆さんのご協力で購入した大型テントは仕組みが複雑なものもあり、少し手こずりながらも新メンバーたちに声をかけながら作業をすすめ、テント村が完成。

八丈島の海は、足が立つ浅いところでも、青や黄色のお魚がきれい。潮だまりにできた塩の結晶を見つけ、四角いね、キラキラだあ、うわぁ、しょっぱ～い！飛び込みのできる港では、いろいろなポーズで飛び込み大会。

お魚見えまくりの八丈小島は、今年も鯛2匹ムロアジ100匹の大漁で、ご機嫌で戻ろうというとき、にわかにはスコール。まったりしようとテント村に残った人たちは、荷物の移動やベグの補強で大忙しだったようです。でも雨が少しおさまり、海鮮丼となめろう完成というとき、またスコールが。今までも、もっとすごい雨や風のときもあったのですが、今年のキャンプ場は、まったく屋根がなく、その前の大雨で、奥ががけくずれを起こしたということもあり、島の皆さんのおかげで、公民館に避難することに決定。たまりばの長



い八丈島合宿史上初めてのこととなりました。

翌朝も雨。でも公民館にもう1泊させてもらえることになり、午前中にテント撤収。午後は、温泉、スポーツセンター組に分かれて、のんびり。恒例のバーベキューを外ではできなかったけど、室内で焼肉パーティー。デッサン大会をしたり、総勢20人ぐらいでエグザイルもどきのダンスをしたり、嵐が来ても楽しい最終日でした。

「こんな天気心配が無い民宿での合宿はどう？」と何人かに聞いたら、「やっぱり八丈はキャンプでしょ！」という声が多数。また一つ子どもたちの底力が見えた、忘れられない八丈島合宿になりました。(のぶこ)



キャンプ場は、まったく屋根がなく、その前の大雨で、奥ががけくずれを起こしたということもあり、島の皆さんのおかげで、公民館に避難することに決定。たまりばの長

NPO法人
フリースペース
たまりば
って...?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

じゃがいもゴロゴロ 50kg!

7月9日、「おいしいね、うれしいね、たのしいねプロジェクト（神奈川県・JA セレサ川崎・たまりば3者による協働事業）」の一環として、麻生区黒川にあるジャガイモ畑（JA 所有）に伺い、収穫体験をさせていただきました。最初に、農家の方が収穫するにあたっての注意する点について話をしてくださり、その後すぐに畑で収穫作業を行ないました。土の中からはジャガイモがどんどん掘り出され、あっという間に 50 kg のジャガイモが採れて、みんな大興奮のうちに収穫体験を終えました。お昼が近づいたところで、場所を黒川青少年野外活動センターに移し、みんなの昼食を兼ねた大収穫祭を行ないました。採れたてのジャガイモを油で揚げてポテトチップスを作ったり、ポテトサラダを作ったり、JA から頂いた地場産の野菜も一緒にバーベキューをしたりと、みんなでお腹も心もいっぱいになる幸せな時間を過ごしました。（ゆうき）



祝 7 周年 ～ 夢パまつり 2010 ～

夢パークがオープンして8年目。1200人を越える来場者があった「夢パまつり」。今年もテーマは「水遊びスペシャル！」。巨大ウォータースライダー、ドラム缶風呂、色水遊び、大型水鉄砲など、夢パークのあらゆるところで、水遊びを楽しむことができました。子どもたちは、ぬかるんだ土の上をはだして駆け回り、水をあびて大喜び。他にも「登龍門」（ステージ）やレインボー商店街（食べ物屋）、「盆踊り」を開催。フリースペースえんからは「レインボー商店街」で、おなじみ「バリマタやきそば」を出店。ベテラン組の慣れた手つきを見ながら、新たなメンバーが焼き手に挑戦！売り子さんみんなの汗はさわやかに輝いて、250食を見事完売！「登龍門」では、中学生4人組（通称お兄さんズ）が初デビュー。観客に見守られながら、フォルクローレの覚えたての曲を堂々と披露しました（マチコ）



歌って 踊って 音楽交流

昨年「えん」のメンバーが世田谷にある光明特別支援学校を訪ね、フォルクローレを演奏したのが縁で、今年も9月に音楽交流の会がありました。今回は、理事の長谷川俊雄さんの白梅学園大学のゼミ生10人もコーラス&鳴り物隊で参加し、大所帯でのステージ！みんなで6曲、さらにベテランメンバー「お兄さんズ」が2曲を披露。最近フォルクローレを始めたばかりの中学生たちは毎日朝から晩まで、なんと土日も集まって練習してきました。そして迎えた本番は、演奏はもちろん、フォルクローレの説明やソロ演奏付き楽器紹介、MCもバッチリ！ノリノリで演奏に反応してくれる、光明の人たちの温かさに、緊張していたメンバーからも笑顔がこぼれて、最後には会場全体が歌とダンスで大盛り上がり！汗と笑いにまみれたとっても楽しい1時間半でした。光明の生徒さんから歌のプレゼントや手作りのしおりをいただき、またステキな思い出が一つ増えました。（ハイホー）



お飾り&カレンダー 予約受付中！

厳しい暑さだった夏も過ぎ、秋の恒例となった「お飾り」作りが始まりました。ひょうたん型に切り抜いた板に、着物地で作った梅や一枚ずつ色付けした竹と松の葉などをつけ無病息災（6つのひょうたん＝六瓢＝無病）を願ったお飾りです。お母さんたちが中心となって、みんなで心をこめてひとつずつづくりしています。＜限定100個、2,000円＞



そして、こちらも毎年恒例の「たまりばカレンダー」。「アート」の時間に色鉛筆、水彩、パステルなどで描いた子ども・若者たちの絵がカレンダーになります。おいしそうな食べ物だったり、夏の思い出だったり…。ふんわり柔らかい色合いや大胆な筆づかいで個性あふれるステキな絵が12枚。毎月カレンダーをめくるのが楽しみになります。＜A4サイズ12枚つづりで1,200円＞（たかこ）

『やってみよう』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



「えん」で行なわれている講座を紹介します

平センのサイエンスミニシアター 連続講座

月に一回、大きなリュックを背負って「ヒラセン」こと平林浩さんはやってきます。リュックの中には、仮説実験授業で使うたぐさんの実験道具やプリントが。

たまりばが始まって以来、約20年続いているヒラセンの講座。今の「サイエンスミニシアター」の形になったのは5年前。今までに、原子・分子、燃焼、電気、イオン、温度、宇宙など多くのテーマについて学んできました。



今は、表面張力。水や油、水銀などさまざまな液体を使って実験しています。「水の表面には、一円玉が何枚乗るか？」など実際に実験をしてみると思いもよらない結果ができることも。苦手だと思いついて入っている人が多い「科学の世界」。その面白さや奥深さを、解りやすく身近なものにしてくれる人気の講座です。(ダイスケ)

平林浩(ひらばやし ひろし)

元小学校教師。「仮説実験授業研究会」会員として、科学教育研究を進める。「障害児の教育権を実現する会」会員。1989年に学校の教師を辞め、出前教師になる。いままで、多くの子どもや大人たちに科学の楽しさを伝えてきた。



HAPPY えん プリデイ

最近、「えん」では数字が飛びかっています、世界的な人気を誇る(?)数独ブームが、「えん」にも到来。1~9までの数字を、9x9のマスの埋めていくパズルです。論理パズルと思いきや、ひらめきや勢いも大事。それぞれのやり方で解き進みます。「できたーっ!!」そのすっきり感がなんとも気持ち良いのです。(あや)

今日も朝一番からプレーパークへ。今、「どろ団子づくり」にはまっています。まずはベースの土探し。こちの土は湿っていいよ、その土はサラサラすぎるな。どろを丸めていくうちに、力を入れすぎてヒビが、どろ団子にも愛情をそそがないとね。作り終わる頃、気づいたら自分の顔も真っ黒け (マチコ)

地元の方から大量のナスをいただきました。揚げて、炒めて、煮込んで、漬けて... 食卓はナス祭り。大喜びのみんなの中で「ナスサイコー!!」とひととき幸せそうなキョウヘイクン、なんと今までナスがダメだったそう。「オレえんでいるんな野菜食べれるようになったんだ。今年の目標は好き嫌いをなくすこと!」みんなが美味しく食べてくれるのが嬉しいね。(みよし)

西野のつぶやき

「子ども夢パーク」の次期指定管理者の申請を無事に済ませることができた。あとはこれから開かれるプレゼンテーションに臨み、選考結果を待つだけである。申請にあたっては、現役メンバーやOB、その保護者の方々から、「えん」での活動存続を願うたぐさんの熱い応援メッセージが寄せられ、スタッフ一同とても勇気づけられた。この場をかりて、心からお礼申し上げたい。ありがとうございました。

また、聖心女子大学の院生の方々がまとめてくれた「えん」の子どもたちへのインタビューには、普段私たちが直接聞くことのできない貴重なメンバーの声が集められていた。「ここが一番自分が生きてるって実感できる」「2個目の家っていうか。俺の中では、“おかえり”とは言わないけど、まあいつでも迎えてくれる感じ」と“安心”を語る声。「上下関係がないの。(中略)それが楽なんだよ。上の人だったら合わせてくれるし、下の人だったら合わせられるし」1つの年齢差でも緊張感をともなう学校生活と比べて、異年齢が家族のように暮らしかう場を評価する声。「スタッフなんかは、お兄さん、お姉さんの延長線上にいるというか、そんな感じはしなくもない。(中略)いいよね、だって、人生の先輩がいるわけだから。(中略)けっこう相談できるし、いろいろ話せるし。またある男の子は「(楽器が)だんだんできるようになっていってて。それが楽しかったんかもしれない。(中略)俺もできることあるんだって」「おもしろい」と感じるものとの出会いが、自信を生み出していく様子が語られている。さらに「自分のやりたいこと、言いたいことをちゃんといえるようになった気がする」と語る女の子。

子どもたちの声を読みながら、うれしいやら、くすぐったいやら、背筋が伸びる思いがする。なんとしてもこの居場所を守り、みんなで育ちあう場を続けていきたい、と強く願う。(西野博之)



オーガニックカフェ

TEL/FAX 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル1F



インフォメーション

詳しくは事務局まで

サツマイモ収穫と稲刈り

～県とJA セレサ川崎とたまりばとの連携促進モデル事業～

10月15日(金) 集合9:45「夢パーク」

バスで畑まで行き、収穫。その後、黒川青少年野外活動センターに移り、みんなで料理して食べよう！<要連絡>

第5回冒険遊び場づくり全国研究集会

10月30日(土)・31日(日) 横浜市野島青少年センター他

「外遊びが社会をひらく～もっともっと遊びを～」をテーマに、今年には神奈川で開催。西野博之が実行委員長を務めます。

夢パーク子どもゆめ横丁～かわさき子どもの権利の日事業

11月7日(日)10:30～15:00 (夢パークは18:30閉所)

*11月8日(月)は臨時施設点検日のため、お休みです。

いつもの夢パークに子どもの「街」が出現します。街の中では、子ども同士でお店を出すことができます。どんなお店にするのか、何を売るのか、いくらで売るのかなど全部自分たちで考えていきます。もちろん、この街では本物のお金を使います。

「染めのおっちゃん」と野染め」～かわさき子どもの権利の日事業

11月15日(月)11:00～15:00「えん」

京都の染色家、斎藤洋さんと一緒に18メートルの長い布をみんなで思い思いの色に染めよう！午後は斎藤さんと語り合おう。

朗読劇「ハッピーバースデー」(川崎事務局:たまりば)

11月27日(土) 川崎市多摩市民館 大ホール

昼:12:30開場 13:00開演 夕:16:30開場 17:00開演

チケット:3,000円 たまりばに申込みいただくと割引があります。

夢パーククリスマスイベント

12月23日(木・祝)(夢パークは18:00閉所)

イベント出店・演奏

雑居まつり 10月10日(日) 世田谷区・羽根木公園

多文化フェスタ 10月23日(土) 溝の口クティ2屋上

連載 毎日新聞『きっと、だいじょうぶ。』

4月11日から隔週日曜日に、西野博之がコラムを連載中。

インターネットでも読めます。

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第5回 11月20日(土)10:00～12:00

第6回 1月22日(土)10:00～12:00

(原則として、各回とも同じ内容です)

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>

子ども・青年にかかわる人に必要な

精神医学の基礎

講師:石川憲彦さん

(児童精神科・小児科医、林試の森クリニック院長)

シリーズ 「現代の精神医学を理解するために」

第1回 11月17日(水)高津市民館 会議室

「精神現象の理解と今日の診断の限界」

第2回 12月17日(水)会場未定

「薬剤を中心とする治療とその問題点」

参加費 通し参加 5,000円 / 単発参加 3,000円

時間 18:30～20:30

*シリーズ 「安全・安心の病理」(全3回)

シリーズ 「活力と充足の病理」(全3回)

ご支援いただきありがとうございます(2010.6.11～2010.9.9)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

西島麻由子、田場寿子、中川裕子、門田啓子、柳生幸子、関和明、安田裕子、高藤光津子、長敬弘、竹内太郎、青木和雄、本田常隆、諏訪部加代子、永井靖二、田辺待子、斎藤浩輝、渡邊繁子、長田康宏、竹内昭、細谷加代子、尾上玉恵、児島順子、松崎良子、山田恵理子、清水敏治、金子大也・麻子・光希、浦野麻子、倉方洋行、近藤尚、桑原俊三・優子、長谷山明子、小柳賢治・則子、今野和近・友裕、中村裕子、村上信雄、野口のぶ子、川又直、中西拓子、中村勇、半澤彰浩・嵐、鈴木洋子、矢崎達則、熊谷和夫、金子美保、木島龍次、角之上拓弥、高木康平、種田弘、毛井ひろの・海渡・大智、長谷川和子・新之助、長谷川信儀・靖子、市川三佐子、山田裕子、山本功子、石山桂子、小川直美、千里金蘭大吉永ゼミ、田老幸子・香奈、平島春美、吉田弘子、山田悦子、わたぼうし、松下和夫、石橋充行・大吉

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

月払い会員、年払い会員、個人会員、団体会員など各コースあります

振込先 郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は(支店名を「セ」で検索してください)

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562(光富、山下)